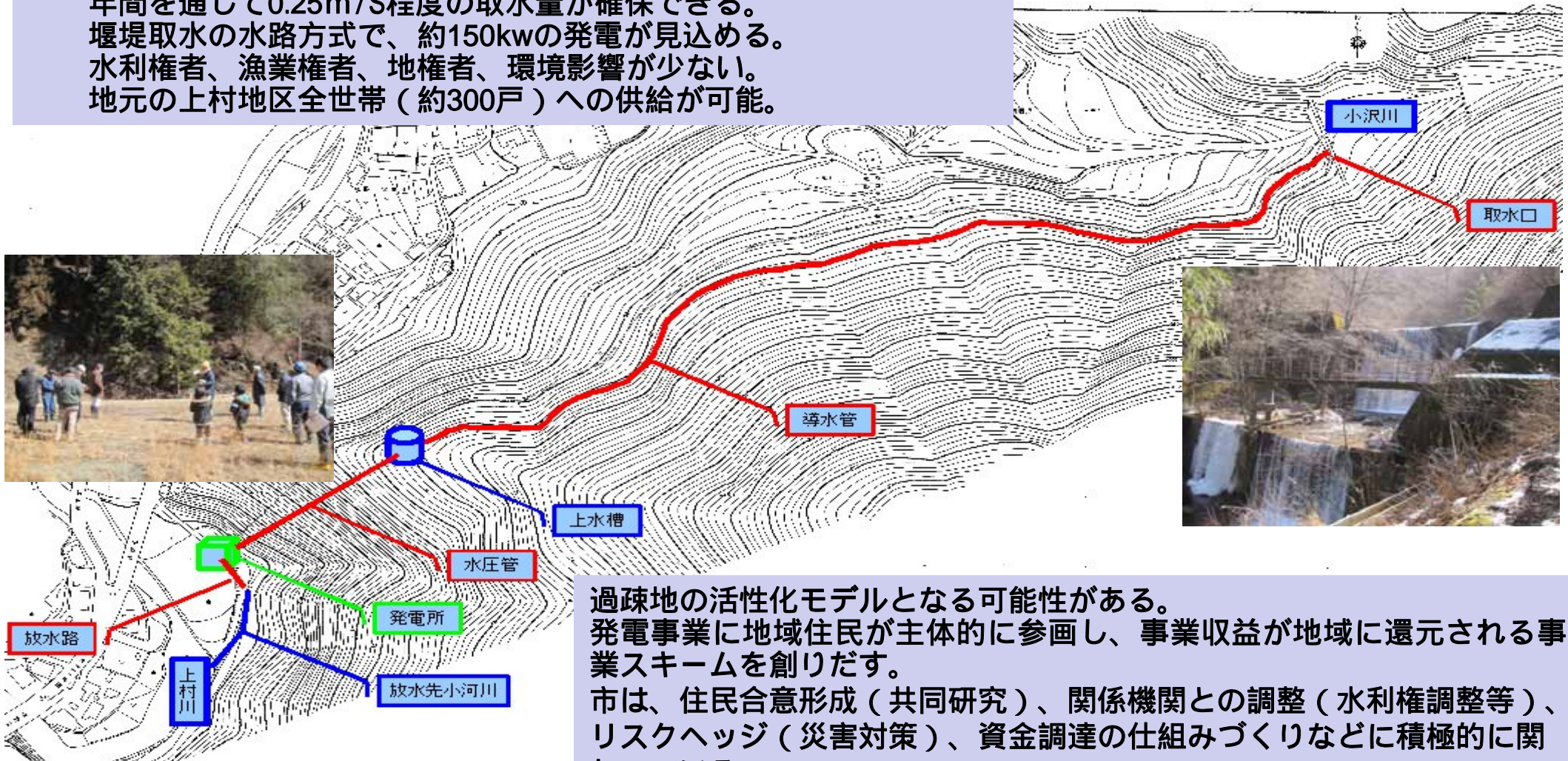


小水力発電の実現に向けた取組み

小沢川（県管理一級河川・砂防対策完了）

年間を通じて $0.25\text{m}^3/\text{S}$ 程度の取水量が確保できる。
堰堤取水の水路方式で、約 150kw の発電が見込める。
水利権者、漁業権者、地権者、環境影響が少ない。
地元の上村地区全世帯（約 300 戸）への供給が可能。



過疎地の活性化モデルとなる可能性がある。
発電事業に地域住民が主体的に参画し、事業収益が地域に還元される事業スキームを創りだす。
市は、住民合意形成（共同研究）、関係機関との調整（水利権調整等）、リスクヘッジ（災害対策）、資金調達の仕組みづくりなどに積極的に関わっている。